

東日本高速道路株式会社 北海道支社
支 社 長 堀 圭一

質問書に対する回答

(工事名) 道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	中トマム鶴川橋下部工図60/70 中トマム鶴川橋A1橋台土留め詳細図に親杭モルタル充填の記載がありますが、回答より充填長は打ち込み長と同様とありましたが、構造物掘削時モルタルを人力砕り・モルタル処分が必要となりますが、その砕り、処分費用は別途協議とお考えで宜しいでしょうか。施工条件をご教示ください。	モルタルのはつり・処分については構造物掘削に含みます。
2	中トマム鶴川橋下部工図60/70 中トマム鶴川橋A1橋台土留めを含め各所に残置式アンカーの設計となっていますが、その撤去方法は頭部切断による除荷作業にての撤去でしょうか。撤去方法をご教示ください。	残置式アンカーは撤去しません。
3	中トマム鶴川橋下部工図61/70 中トマム鶴川橋A1橋台土留め詳細図材料表の鋼製台座・ブレケット・補強リブはスクラップ処分とお考えでしょうか。処分方法をご教示ください。	ご認識のとおりです。
4	トマム橋下部工図53/63 A1橋台仮設土留め工詳細図の山留壁材料表に副部材・台座(ブレケット)がリースと記載ありますが、リース材は無く消耗部材扱いで使用後スクラップ処分と考えて宜しいでしょうか。	ご認識のとおりです。後日、設計図書を訂正いたします。
5	トマム橋下部工図53/63 A1橋台仮設土留め工詳細図のガス切断は12か所とありますが、Case2～5の22個所ではないでしょうか。	トマム橋下部工図54/63 A-A断面に示すとおりです。

番号	質問事項	回答
6	トマム橋下部工図54/63・57/63 A1橋台仮設土留め横矢板配置図及び自立杭詳細図に充填材の記載がありませ んが、図面の通り充填材は無しのお考えで宜しいでしょうか。 ご教示ください。	充填材は必要となりますので、後日、設計図書を訂正いたします。
7	トマム橋下部工図57/63 A1橋台仮設土留め頭つなぎの材料は中古＋スクラップ、新品＋スクラップど ちらのお考えでしょうか。ご教示ください。	中古＋スクラップとなります。
8	トマム橋下部工図58/63 A1橋台仮設土留め図面記載のアルゴメはリースでお考えでしょうか。ご教示 ください。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
9	トマム川橋下部工図106/110 A1橋台仮設土留め図で鋼矢板L=11.0mのN値は25を超えますが、圧入機械はWJ で、その他25を超えない箇所は通常の圧入機械でのお考えでしょうか。施工 機械をご教示ください。	特記仕様書27-3-3(3)をご確認ください。
10	トマム川橋下部工図110/110 P1橋脚仮設土留め工詳細図で鋼矢板のN値は25を超えますが、WJでの圧入でお 考えでしょうか。施工機械をご教示ください。	特記仕様書27-3-3(3)をご確認ください。
11	擁壁工図8/33 中トマム鶴川橋鋼管擁壁工構造一般図の材料表、支保工リース材の賃料期間 は5か月でのお考えでしょうか。期間をご教示ください。	リース品で約13.5ヶ月を想定しています。
12	擁壁工図8/33 中トマム鶴川橋鋼管擁壁工構造一般図の材料表、鋼製台座は仮設と同様の仕 様でのお考えでしょうか。その他山留関連資材を含め、メッキや塗装等の永 久仕様などのお考えがあれば、その仕様をご教示ください。	被覆コンクリートを行いますので防鏽処理は想定していません。
13	擁壁工図1/33 中トマム鶴川橋鋼管擁壁工構造一般図の永久アンカー打設において、鋼管Φ 318.5の孔開けが必要となります、その施工費は別途協議事項で宜しいで しょうか。ご教示ください。	対象となる鋼管擁壁工に含みます。
14	擁壁工図1/33 鋼管杭初期圧入時の反力架台基礎部の施工費に関しては、別途協議とのお考 えで宜しいでしょうか。ご教示ください。	関連する単価項目に含まれております。

番号	質問事項	回答
15	<p>擁壁工図5/33 中トマム鶴川橋鋼管擁壁工構造一般図の削孔延長計【断面図（8, 9, 10）】$\phi 90$は各部材リストより$\phi 115$ではないでしょうか。 また削孔延長は、数量計算から各土質$3.6m \rightarrow 5.2m \cdot 5.2m \rightarrow 17.9m \cdot 3.0m \rightarrow 19.4m \cdot 7.2m \rightarrow 4.2m \cdot$合計$19.0m \rightarrow 46.7m$ではないでしょうか。</p>	<p>①ご指摘のとおり、削孔径は$\Phi 115$が正となります。後日、設計図書を訂正します。 ②削孔延長計は$47.5m$が正となります。後日、設計図書を訂正します。</p>
16	<p>のり面工図9/20・13/20 宮武の沢川コンクリートブロック積P9/20及びP13/20に胴込めコンクリートの数量記載がありませんが、計上が必要と考えて宜しいでしょうか。各々の数量をご教示ください。</p>	<p>共通仕様書4-17-6（1）をご確認ください。 後日、設計図書を訂正します。</p>
17	<p>中トマム鶴川橋1/70図 トマム川橋1/110図 中トマム鶴川橋及びトマム川橋の鉄筋B（E）・B(H)（E）に対応する機械式継ぎ手の数量がありませんが、計上無いしで宜しいでしょうか。</p>	<p>鉄筋B（E）・B(H)（E）に対応する機械式継手は、上部工施工となるため本工事対象外です。</p>
18	<p>単価番号113仮設防護柵A（供用） 仮設防護柵A（供用）の設計数量$150m\text{月}$となっていますが、$36m \times 5\text{か月} = 180m\text{月}$ではないでしょうか。</p>	<p>仮設防護柵A（供用）の設計数量は$180m\text{・月}$が正となります。 後日、設計図書を訂正します。</p>
19	<p>雑工・附帯工図2/2 図表の仮設目隠し板A、安全用品は全て新品材でのお考えでしょうか。中古・新品材の区分があればご教示ください。 また撤去材はどの様な処分を考えでしょうか。あればご教示ください。</p>	<p>貴社の施工計画に基づきお考えください。</p>
20	<p>特記仕様書P20 建設副産物の活用等表記載の廃プラ、仮設防護柵工は具体的にどの材料を想定していますか。</p>	<p>仮設防護柵工 仮設目隠し板A（撤去）（Y）のメッシュシートを想定しています。</p>
21	<p>参考図5/25 トマム橋A2の河川迂回設置撤去の波型管$\phi 1100$はダブル管仕様でお考えでしょうか。ご教示ください。</p>	<p>コルゲート管を想定しております。後日、設計図書を訂正いたします。</p>
22	<p>割掛対象表参考内訳書3/5 足場工費の深基礎杭数量はP1 : 159.3空m^3とP2 : 361空m^3の520.3空m^3ではないでしょうか。</p>	<p>設計図書に記載のとおりです。</p>
23	<p>護岸工の法枠ブロックA及びコンクリート基礎工Dについて 上記 2 単価項目の掘削、埋戻し数量が、図面 のり面工 3、4/20に合計されて記載されています。 掘削、埋戻しは、法枠ブロックにすべて計上すると、考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>ご認識のとおりです。</p>

番号	質問事項	回答
24	<p>構造物掘削 B1について 親杭 L=15.5m アンカー式の頭部 切断数量について、 図面53/63 数量表では 12本。特記仕様書27-3-3 構造物掘削 (3) 土留めの種類 備考では 10本と記載されています。どちらが正しいでしょうか。ご教示願います。また、図面に切断位置を明記頂けますでしょうか。</p>	<p>図面に記載の数量が正となります。後日、設計図書を訂正いたします。</p>
25	<p>トマム川橋 A2について 箱型橋台の頂板まで施工と考えられますが、図面14/110において「トランペットシース及び箱抜き詳細図」に上部工施工と記載されています。これはあと施工でしょうか。また、支承アンカーボルトの長さ表記がありません。合わせてご教示願います。</p>	<p>トランペットシースは下部工施工となります。 また、支承アンカーボルトの長さは802mmとなります。後日、設計図書を訂正いたします。</p>
26	<p>トマム川橋 A2 型わく工について 添接管 ø600用 箱抜きは、型わく Cに含めると考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>割掛の支承アンカーボルト箱抜費に含めます。後日、設計図書を訂正いたします。</p>
27	<p>仮設防護柵A（供用）の数量について 設置において 36m施工 設置期間 約5ヶ月（特記仕様書記載）から考えると 36m * 5ヶ月 = 180m・月になるとを考えますが、いかがでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>仮設防護柵A（供用）の設計数量は180m・月が正となります。 後日、設計図書を訂正いたします。</p>
28	<p>仮設防護柵工 既設ガードレール撤去再設置 (Y)について ガードレールの種別は、図面（雑工・付帯工）1/2 から支柱間隔 3.0mと読みます。これは、Gr-SA-3Eと考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>既設ガードレールの種別はGr-A-4E-15.1m、Gr-A-2E-4m、Gr-A-BJ(2)-16.9mとなります。後日、設計図書を訂正いたします。</p>
29	<p>護岸工の法枠ブロックAについて 特記仕様書27-12 護岸工 (6) 支払 に「掘削土は、トマムIC盛土へ」と記載。埋戻し土については、トマム地区より置場から運搬、施工と考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>ご認識のとおりです。後日、設計図書を訂正いたします。</p>